

## 長島復興副大臣ぶら下がり会見録

(平成28年3月14日(月) 14:30～14:32 於) 福島県伊達市)

### 質疑応答

(問) 復興庁として今回、このふるさとトークとして回られたのは、福島が初めてということなのですが、ほかの被災地と比べてどのように違うというふうに思われるでしょうか。

(答) 私は去年、宮城でやらせてもらって、宮城も大変な状況だけれども、福島はそれに加えて目に見えないものがやはりありますよね。こうやって過ごしていることと、先が見えないということ。目に見えないものが多過ぎる状況をまだ脱し切れていないという感じだと思います。

(問) 語気も強めに副大臣に対していろいろな意見を言われたというところ、この反応に関してはどのように思われますか。

(答) 至極当然、でも随分気を遣っていただいて、トーンを下げていただいたんだろうというふうには受け止めております。

(問) 健康被害に対する不安というのが今日非常に多かったと思いますが、そのあたりをどう受け止めていらっしゃるでしょうか。

(答) 我々が今、法律で約束できることは約束をしています。それ以外に、やはり個々に不安を抱えていらっしゃる方がいらっしゃるんだなということは、想像はしておりましたけれども、こうやって声にさせていただいて、改めて認識をいたしました。そのところをどう解消してあげることができるのか、まずは病気にさせないということが我々の一番の目的ですから、まずは病気にさせない体制をどうつくるかということを目標にしてやっていきたいと思いますが、一方で今日言われたみたいな不安もあると思います。

そこをどう、不安を解消してあげることができるかということをちょっと検討していきたいと思います。

(以 上)